

ントについても参加者増加への工夫を行い実施するとともに、町外からの交流人口を増やし地域経済の活性化を図ります。



県内外から多くの人を訪れる
梨マラソン大会

2 地域でいきいきと暮らせる 保健福祉のまちづくり

生活の安定は健康づくりという視点から疾病の早期発見、早期治療を促進し、町民の皆さまの健康増進と医療費の抑制を図るため、保健予防、検診事業、健康相談、保健指導、食生活改善指導をさらに強化推進します。

高齢者等福祉タクシー利用料金支援事業を継続し、交通手段が乏しい高齢者と障がいをお持ちの皆さまを支援していきます。

病児・病後児保育が八代北部地域医療センターを事業主体として実施されていますので、今後も運営、財政支援を行います。

八代市・市郡医師会と連携し設置した「八代地域在宅医療・介護連携支援センター」を核として、地域包括ケアシステム構築を図ります。

第9期氷川町介護保険事業計画に基づき、対象者個々のニーズに応じた適切な介護保険サービスを提供します。

人間ドック受診費用、各種がん検診費用、インフルエンザ予防接種費用の助成を継続して実施します。

継続事業として、3歳未満児の保育料の無償化、3歳未満児のおむつ代やミルク代など子育てに係る経済的負担を軽減するための「物価高騰対

3 人を育む 魅力ある教育の振興

学校給食共同調理場規模拡大改修工事を施工するとともに、氷川中学校の給食統合に向けた環境整備を推進します。新規事業として、ペルーへ移住し活躍された平岡カルロス千代照氏の生涯と地域貢献活動を紹介することを目的に、授業の副教材の作成を行います。

氷川町文化センター内に設置した教育支援センターの活用による不登校の未然防止やその解消を図り、児童生徒の登校、学校復帰を支援していきます。

中学生の英語検定受験助成事業を継続し、(財団法人)日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定費用の全部または一部を助成し、英語に対する学習意欲の向上を図ります。

策子育て応援券」の支給を実施します。

子育て・定住促進対策として、現在の高校生までの医療費無料化、産前産後ホームヘルプ事業、すこやか赤ちゃん出産祝金支給事業を継続して実施するとともに、保健師を中心とした氷川町子育て世代包括支援センターを充実させ、子育て世代の支援を促進していきます。



子育て支援センターではさまざまなイベントを開催 (ベビーマッサージ)

また、新たに氷川町子ども家庭センターを宮原福祉センター内に設置し、子どもの虐待や悩み相談に対応していきます。

高齢者及び障害者福祉対策

移行して6年が経過しましたが、今後も円滑な活動が図られるよう指導者の育成等の支援を行うとともに、中学校部活動の地域指導への移行についても一部の部活動で試行を開始します。

幼児期における質の高い保育・教育を支援するための子ども・子育て支援事業計画及び新次世代育成支援対策行動計画に基づく事業を執行し、すべての子どもと子育て家庭が安心・安全・健康に暮らせる町を目指していきます。

八火図書館も多くの町民の皆さまにご利用頂いています。が、今後も蔵書数を増やすとともに、本施設を中核として学校図書館との連携を図りながら積極的に図書活動を実施していきます。

氷川町スポーツ協会・氷川町文化協会の組織の強化と会員の拡大を目指して、相互に連携を図りながら、社会体育と文化の振興に向けた支援を行います。

としては、いきいきサロン事業、食の自立支援事業、通所型介護サービス事業、高齢者及び障がい者住宅改築助成事業の継続事業をはじめ、障がい者総合支援法に基づくさまざまな支援事業を実施するとともに、就労支援などの自立支援にも取り組んでいきます。

特に、いきいきサロン事業については、全地区で開催されていますが、高齢者のみならず地域の各年代層の方々が関わりを持てる機会をつくり、地域ぐるみで高齢者を見守る環境づくりを進めていきます。

町社会福祉協議会の地域福祉計画や組織改革計画を踏まえ、各サービスの業務形態と職員の就業形態を改め、社会福祉協議会事務所の一元化を図り円滑な事業運営に努めるとともに、社会福祉協議会と民間施設と役割分担を図り、氷川町に適した社会福祉協議会独自の地域で支える介護・福祉の環境づくりを進めていきます。



子どもたちの可能性を
さらにのばす事業を展開

4 魅力ある暮らしやすい まちづくり

地球環境への負荷軽減による自然と共生するまちづくりを目指して、太陽光発電施設などの費用助成を行う住宅用新エネルギー等導入促進事業については、助成内容を見直すとともに、合併浄化槽設置助成事業を継続して取り組みます。

八代市環境センターにおける氷川町のごみ広域処理が開始されましたので、その円滑な運営を図るとともに、生ご